2WAYスキャナー
UMSC-03

取扱説明書

株式会社ミヨシ

※本書記載の会社名、製品名等はその会社の登録商標又は商標です。

もくじ

はじめに		3
使用上のご注意		3
電池に関する取り扱いについて		4
電池を安全にお使いいただくために		4
セット内容		4
製品仕様		5
スキャンデータ保存可能枚数		5
各部名称・各部機能		6・7
液晶画面の見方		8
ご使用前の準備	シートフィードスタンドの着脱方法	9
	乾電池を取り付ける	9
	microSD/microSDHCカードを取り付ける	10
	microSD/microSDHCカードをフォーマットする	10
	時刻を設定する	10
	カラー/モノクロを設定する	11
	解像度を設定する	11
	保存形式を設定する	11
	microSDカードを暗号化する	11
使用方法	スキャナーを単体で使用する	12・13
	シードフィードスタンドを使用する	14・15
	パソコンに接続して使用する(デバイスモード)	16
	パソコン連携機能を使用する(アプリケーション)	16
アプリケーションを使用する	インストールする	17
	日本語の設定をする	18
	ピクチャダイレクト機能を使う	19・20
	見ながらスキャンをする	21
	スキャンした文章をテキスト化する	22・23
	スキャンした名刺をテキスト化して管理する	24・25
	iPadへ転送・閲覧をする	25
困ったときには		26
保管・お手入れ		27
製品に関するお問合せ		27

はじめに

この度は弊社製2WAYスキャナー[UMSC-03]をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ず本書をご一読いただき、大切にお手元に保管してください。

使用上のご注意

●ご使用の前には本書をお読みになり、正しくご使用ください。
●本製品はスキャンする原稿の材質、スキャン時の速度によってはゆがみ、ずれ等が発生する場合がございます。
●本製品付属のUSBケーブルでおつなぎいただいても乾電池の充電を行うことはできません。
●本製品を長時間使用しない場合には、乾電を取り除いて保管してください。
電池を入れたままの状態で長期保管すると液漏れを起こす場合がございます。
●本製品の分解や改造は絶対に行わないでください。故障の原因になります。
●他に接続しているUSB機器のドライバなどの競合による不具合の動作保証は致しかねます。
●お手入れをする際は、乾いたやわらかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナーなど揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
●直射日光の当たる場所や、高温多形式を湿の場所での使用・保管はしないでください。
●乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
●法律により、次のようなもののスキャンを行わないでください。
スキャン行為や複製データを所持することで罰せられることがあります。

・国内外で流通する紙幣、貨幣、国債証券、地方債証券、政府発行の有価証券
・未使用の郵便切手、郵便ハガキ
・印紙、証紙など

また、以下のものはみ個人的または家庭内、その他これに順ずる限られた範囲で使用する目的以外ではスキャンを行わないでください。

・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物

●本製品の使用によるデータの消失、破損が生じた場合、原因や損害の被害にかかわらず弊社では一切の責任を負いかねます。また、製品使用による直接又は間接的な損害に関しましては一切の責任を負いかねます。

電池に関する取り扱いについて

●乾電池は小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。
●アルカリ乾電池とマンガン乾電池など、互いに異なる性質の電池を組み合わせてのご使用は絶対におやめください。
●液漏れを起こした電池や使用済み電池は各地方自治体の指示に従い廃棄してください。
●電池を使用中に電池内部の液が漏れて皮膚又は衣服に触れた場合は直ちに水で洗い流してください。

電池を安全にお使いいただくために

●乾電池の電解液は腐食性があります。目、皮膚、及び人体に損害を起こすことがありますのでご注意ください。

安全に電池をお使いいただくために以下の行動は絶対にしないでください。

1. 乾電池を改造、分解は絶対にしないでください。
2. 乾電池を加熱しないでください。
3. 使用済みの乾電池を火の中に投げ入れないでください。

セット内容

● スキャナー　● シートフィードスタンド　● USBケーブル(約1.4m)
● アプリケーションディスク(Magic Scan)　● キャリングポーチ
● 取扱説明書兼保証書(本書)

※乾電池、microSDカード別売

製品仕様

セ　ン　サ　ー	カラーコンタクトイメージセンサー
解　像　度	標準画質 300dpi、高画質 600dpi、最高画質 900dpi (パソコン連携時は標準画質300dpi固定)
最大読取りサイズ	幅216mm / 長さ1,200mm
読取り時間(A4)	300dpi 約2秒、600dpi 約4秒、900dpi 約9秒 シートフィードスタンド使用時　約6秒
保　存　形　式	JPEG / PDF (パソコン連携時はJPEGのみ)
保存領域(別売)	microSDカード 1GB～2GB / microSDカード 4GB～32GB
サ　イ　ズ	スキャナー　約W258×H22×D35mm シートフィードスタンド　約W280×H58×D80mm
重　量	スキャナー　約155g(乾電池を除く) シートフィードスタンド　約310g(乾電池を除く)
電　源	スキャナー単体使用時　単四アルカリ乾電池 3本 シートフィードスタンド接続単体使用時　単三アルカリ乾電池 6本 スキャナーパソコン接続時　USB DC5V シートフィードスタンドパソコン接続時　USB DC5V
電源寿命 (乾電池)	スキャナー　単四アルカリ乾電池 3本　約400枚 シートフィードスタンド　単三アルカリ乾電池 6本　約800枚 ※A4用紙換算、乾電池の種類や使用状況によって大幅に変化します。
自動電源オフ	無操作状態から約3分後
対　応　O　S	Windows 7(64bit、32bit)、Vista(SP2)、XP(SP3) MacOS X 10.6.8以降　※Macではパソコン連携機能は使用できません。
保　証　期　間	お買い上げ日より1年間

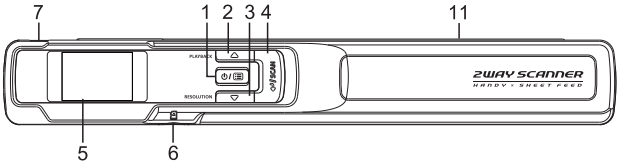
スキャンデータ保存可能枚数 (A4用紙換算、microSDカード 2GB使用時)

JPEG PDF	標準画質	カラー	約1600枚
		モノクロ	約2000枚
	高画質	カラー	約600枚
		モノクロ	約800枚
	最高画質	カラー	約190枚
		モノクロ	約190枚

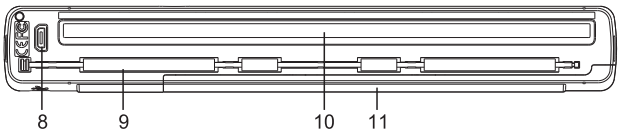
各部名称・各部機能

■ スキャナー

● 上面



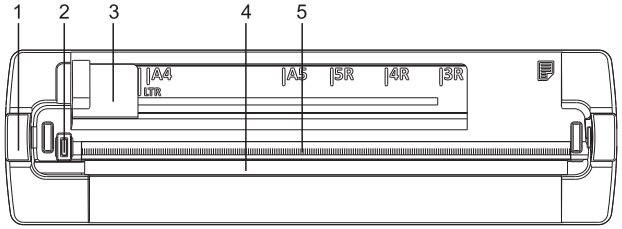
● 底面



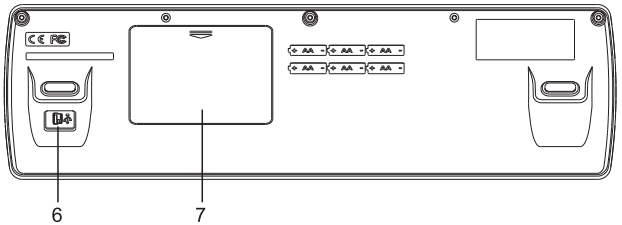
1	電源・メニューボタン	長押し：電源のON/OFFをします。 短押し：電源ON時にメニュー画面になります。
2	上ボタン・再生ボタン	メイン画面時、microSD内のスキャンデータを再生します。
3	下ボタン・解像度変更ボタン	メイン画面時、解像度の設定を変更します。
4	スキャン・決定ボタン	メイン画面時、スキャンの開始・停止 メニュー画面時　選択中の項目を決定します。
5	液晶画面	各設定状況、スキャン内容を表示します。
6	microSDカードスロット	microSDカード、microSDHCカードを挿入します。
7	mini USB端子	付属のUSBケーブルを接続して、パソコンと接続します。
8	シートフィードスタンド接続端子	スキャナーとシートフィードスタンドを接続します。
9	ローラー	原稿の上で回転して、センサーを動作させます。
10	読み取り窓	原稿を読み取ります。
11	電池カバー	カバーを開けて、単四乾電池3本を取り付けます。

■ シートフィードスタンド

● 上面



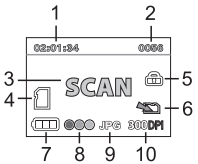
● 底面



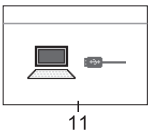
1	取り外しボタン	シートフィードスタンドからスキャナーを取り外すとき、ロックを外します。
2	シートフィードスタンド接続端子	スキャナーに接続します。
3	シートアジャスター	用紙幅に合わせ左右にスライドさせます。
4	紙送りローラー	回転して、紙送りをします。
5	用紙検出バー	挿し込まれた原稿を検出して、ローラーを回転させます。
6	mini USB端子	付属のUSBケーブルを接続して、パソコンと接続します。
7	電池カバー	カバーを開けて、単三乾電池6本を取り付けます。

液晶画面の見方

● メイン画面



●デバイスモード時
アプリケーション使用時

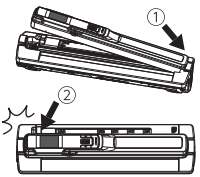


1	時計	設定した時刻を表示します。
2	スキャン枚数	microSDカード内のスキャンデータ総保存枚数を表示します。
3	ステータス	スキャン動作の状況を表示します。 **SCAN**　スキャン中です。 **ERROR**　スキャンできません。
4	microSDカード	microSDカードの状況を表示します。 microSDカードが挿入されています。 空き容量がなく、スキャンデータを保存できません。
5	暗号化設定	暗号化設定の状況を表示します。 microSDカードを暗号化していません。 microSDカードを暗号化しています。
6	スキャンデータ保存先	スキャンデータの保存先を表示します。 microSDカードに保存します。 パソコンに保存します。※ ※ この表示はUSBケーブルでパソコンに接続した際、約5秒間のみ点滅表示されます。 この点滅中に上下ボタンを押して保存先を選択することができます。
7	バッテリー残量	乾電池の残量、もしくは電源の状況を表示します。 乾電池の残量が十分にあります。 乾電池の残量が半分になりました。 乾電池の残量がもうすぐなくなります。 乾電池の残量がなくなりました。交換してください。 USB電源で動作しています。
8	カラー / モノクロ設定	スキャンのカラー、モノクロの設定状況を表示します。
9	保存形式設定	保存形式 JPEG / PDFの設定状況を表示します。
10	解像度設定	解像度 300dpi / 600dpi / 900dpiの設定状況を表示します。
11	パソコン接続時画面	パソコンに接続しているときに表示されます。 ※ 表示中は、スキャナーでは電源のオン/オフ操作しかできません。

ご使用前の準備

■ シートフィードスタンドの着脱方法

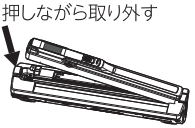
● 取り付け方



1. 接続端子の位置とスキャナーの向きを確認します。
2. スキャナー右側の溝と、シートフィードスタンドの突起を合わせます。
3. スキャナーの接続端子とシートフィードスタンドの接続端子の位置を合わせます。
4. 左側の取り外しボタンが「カチッ」となるまで押し込みます。

(!) 接続端子がうまく合わない場合は無理に押し込まないでください。破損の原因になります。

● 取り外し方



1. シートフィードスタンド左側の取り外しボタンを押します。
2. 取り外しボタンを押しながら、スキャナー左側を持ち上げながら取り外します。

■ 乾電池を取り付ける ※乾電池別売

● スキャナー

1. スキャナーを裏返し、電池カバーを[OPEN]の方向へスライドさせて開きます。
2. 単四アルカリ乾電池を3本取り付けます。
3. 電源・メニューボタンを2秒以上長押しして、液晶画面が表示されることを確認します。
4. 電池カバーを取り付けます。

● シートフィードスタンド

1. シートフィードスタンドを裏返し、電源カバーを矢印の方向にスライドさせて開きます。
2. 単三アルカリ乾電池を6本取り付けます。
3. 電池カバーを取り付け、正面にスキャナーを取り付けます。
4. スキャナーの電源・メニューボタンを2秒以上長押しして、液晶画面が表示されることを確認します。

(!) 乾電池は新旧混ぜて使用しないでください。＋－の方向を確認し、正しく取り付けてください。

■ microSD/microSDHCカードを取り付ける

1. スキャナーの電源をオフにしてください。
   (電源がオンの場合は電源・メニューボタンを2秒以上長押ししてください。)
2. microSDカードの端子面を上向きにして、microSDカードスロットに挿し込んでください。
   [カチッ]と音がして、奥に引っかかるまで押し込んでください。
3. スキャナーの電源をオンにして、液晶画面にmicroSDカードマークが表示されていることを確認してください。

microSDカードを挿入するときは無理に力を入れすぎないでください。スキャナーやmicroSDカードが破損する恐れがあります。
microSDカードを挿し込む向きにご注意ください。
本製品では最大32GBのmicroSDHCカードに対応しています。

■ microSD/microSDHCカードをフォーマットする

フォーマットを行うとmicroSD内のデータはすべて消去され、復元できなくなります。必要なデータが保存されている場合は、必ずバックアップをとってください。

1. microSDカードを取り付け、スキャナーの電源をオンにします。
2. 電源・メニューボタンを押し、メニュー画面からフォーマットを選択し、スキャン・決定ボタンを押します。
3. を選択し、スキャン・決定ボタンを押してください。
4. 電源・メニューボタンを押しフォーマットを終了します。

フォーマット中にmicroSDカードや乾電池を絶対に取り外さないでください。
正常にフォーマットが行えず、microSDカードが破損する恐れがあります。

■ 時刻を設定する

1. 電源・メニューボタンを押し、時計設定を選択し、スキャン・決定ボタンを押します。
2. YEAR(年)、MONTH(月)、DAY(日)、HOUR(時)、MINUTE(分)を上下ボタンで選択し、スキャン・決定ボタンを押します。
3. すべての項目の設定が完了したら電源・メニューボタンを押し時計設定を終了します。

スキャナーから乾電池を取り外したときや、乾電池残量のないシートフィードスタンドに取り付けた場合、時刻設定はリセットされます。

■ カラー/モノクロを設定する

1. 電源・メニューボタン押して、カラー設定◉◎◎を選択します。
2. 上下ボタンで、カラー/モノクロを選択します。
3. スキャン・決定ボタンを押して、カラー設定を終了します。

■ 解像度を設定する

● スタンバイ画面から設定する
1. 下ボタンを押します。
2. 300dpi→600dpi→900dpiの順に解像度が切り替わります。

● メニューから設定する
1. 電源・メニューボタン押して、解像度設定300DPIを選択します。
2. 上下ボタンで、300dpi/600dpi/900dpiから解像度を選択します。
3. スキャン・決定ボタンを押して、解像度設定を終了します。

■ 保存形式を設定する

1. 電源・メニューボタン押して、保存形式設定JPGを選択します。
2. 上下ボタンで、JPG(JPEG)/PDFを選択します。
3. スキャン・決定ボタンを押して、暗号化設定を終了します。

■ microSDカードを暗号化する

⚠ 暗号化設定を変更すると、自動的にmicroSDカードをフォーマットします。
スキャンデータがある場合は、バックアップをとってから暗号化設定を変更してください。

1. 電源・メニューボタン押して、暗号化設定を選択します。
2. 上下ボタンで、暗号化/非暗号化を選択します。
3. スキャン・決定ボタンを押して、暗号化設定を終了します。

(!) 暗号化設定されたmicroSDカードは直接パソコンに接続しても読み込むことができません。
スキャナーにmicroSDカードを挿入し、付属のUSBケーブルでパソコンに接続して
デバイスモードで読み込んでください。(デバイスモードは16ページをご確認ください。)

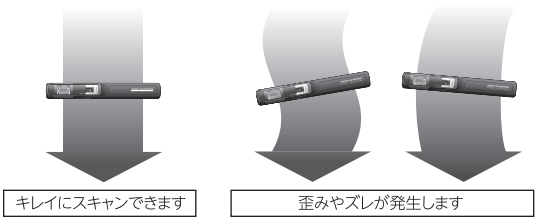
使用方法

■ スキャナーを単体で使用する

● スライドの方法

スキャナーは一定方向にスライドしたときのみ正しくスキャンすることができます。
反対方向にスライドすると、反転してスキャンされます。

原稿の上をスライドさせるときは、初速から停止まで一定の速度で、真っ直ぐスライドしてください。
300dpiでA4用紙1枚をスキャンするのに約2秒程度の速さでスライドしてください。



ⓘ スライドの速度について

スキャナーをスライドさせてスキャンする場合、解像度が高くなると読み込み速度が遅くなります。
そのため、スライドする速さも遅くする必要があります。

● スライド速度の目安

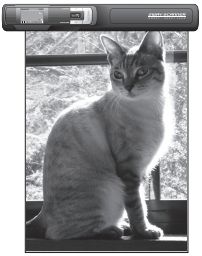
標準画質 300dpi	高画質 600dpi	最高画質 900dpi
A4用紙1枚あたり 約2秒	A4用紙1枚あたり 約4秒	A4用紙1枚あたり 約9秒

解像度を高く設定し、速くスライドするとエラーが発生しやすくなります。

● スキャンする

ⓘ スキャンを始める前に必ずmicroSDカードを取り付けてください。

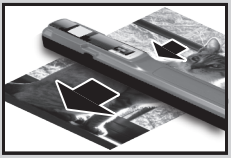
1. スキャンしたい原稿の開始位置にスキャナーを置いてください。

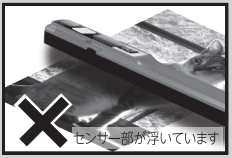


2. 電源・メニューボタンを長押しして、電源を入れてください。
   スキャン・決定ボタンを押してください。液晶画面に **SCAN** マークが表示されます。

3. スキャナーを一定の速度でスライドしてください。
4. スキャンを終了したい位置までスライドし、再度スキャン・決定ボタン押してください。

ⓘ スキャナーと原稿がしっかり重なっていないとスキャンすることができません。
冊子などの浮きやすい原稿をスキャンする場合は、軽く押し付けながらスライドしてください。





スライド中に **ERROR** マークが表示される場合は、スキャンを中止し、再度スキャンをやり直してください。

⚠ スキャン・決定ボタンは、スキャンを開始する場所に置いてから押してください。
また、スキャン・決定ボタンを押した後、スキャナーを反対方向へずらさないでください。
ローラーが読取り方向を誤認識し、スキャンデータが反転します。

■ シートフィードスタンドを使用する

● 原稿の入れ方

⚠ 原稿は必ず1枚ずつ手差しで入れてください。

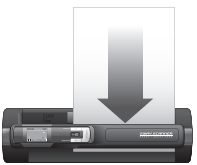
⚠ 原稿は普通紙や官製はがき程度の一般的な紙質、紙厚のものに対応しています。
次のようなものはシートフィードスタンドに挿入しないでください

- 紙厚が1mmを超えるもの、極端に薄いもの
- とてもやわらかい紙や布
- 横幅が216mmを超えるもの、長方形・正方形以外の形状をしたもの
- クリップやステープラが付いているもの、冊子状になっているもの
- ファイル穴などが開いたもの
- 折れ曲がっているもの
- 表面に光沢のあるもの

1. 用紙サイズに合わせてシートアジャスターを左右にスライドさせます。

2. 原稿の読み込む面を上にして、スキャナーの上側から挿し込みます。

3. 奥まで深く挿し込むと、自動的にローラーが回転し紙送りが始まります。



ⓘ スキャンデータが多少歪む可能性がありますが、シートアジャスターで原稿を固定しなくても紙送りすることができます。
ローラーが空回りし、原稿が送れない場合はスキャナーを上から軽く押し付けてください。

● スキャンする

ⓘ スキャンを始める前に必ずmicroSDカードを取り付けてください。

1. 電源・メニューボタンを長押しし、電源をONにします。
2. 原稿をスキャナーの上側から挿し込みます。
3. シートフィードスタンドのローラーが回転し、原稿を紙送りしながらスキャンします。
4. スキャン終了後、3秒程度液晶画面にスキャンプレビューが表示されます。

※画面はハメコミイメージです

● シートフィードスタンドの使用上の注意

原稿の向きを正しく読み取り、表示するには、以下の通り原稿を挿入してください。

表示する原稿の向き

シートフィードスタンド単体使用時

上側から先に挿入してください。

アプリケーションMasic Scan使用時 <縦設定>

上側から先に挿入してください。

アプリケーションMasic Scan使用時 <横設定>

左側から先に挿入してください。

※ 原稿のサイズ変更などが必要になる場合があります。

スキャン中にローラーが止まらないなど不具合が発生する場合は、電源・メニューボタンを長押しし、強制的に電源をOFFにしてください。
絶対にスキャナーをシートフィードスタンドから無理に取り外さないでください。

■ パソコンに接続して使用する（デバイスモード）

※ パソコンに接続して使用する場合は乾電池は不要です。

デバイスモードでは、スキャナーに取り付けているmicroSDカード内のスキャンデータをパソコン上で確認することができます。

1. 付属のUSBケーブルのミニコネクタ側をスキャナーまたはシートフィードスタンドのUSB端子に接続してください。
2. USBケーブルのAコネクタ側をパソコンのUSBポートに接続してください。

USBケーブルで接続すると、スキャンデータ保存先マークが約5秒間点滅します。
この間に下ボタンを押して[microSDカードに保存]を選択すると、デバイスモードを使用せず給電のみを行うことができます。

● Windowsの場合（Windows7）

1. 自動再生で読み込みが始まります。
2. 「全般のオプション」から[フォルダーを開いてファイルを表示]をクリックしてください。
3. 中にある「DCIM」フォルダを開いてください。

※自動再生で読み込まない場合は「コンピュータ」を開き「リムーバブルディスク」をクリックします。

● Macの場合（MacOS X10.6.8）

1. 自動で読み込みが始まります。
2. デスクトップ上に表示された「SD_VOL」アイコンをクリックしてください。
   ※バージョンやフォーマット状態により名称が異なる場合があります。
3. 中にある「DCIM」フォルダを開いてください。

暗号化設定をしているmicroSDカードはデバイスモードでのみ読み込むことができます。
(暗号化設定は11ページをご確認ください。)

■ パソコン連携機能を使用する(アプリケーション)

専用アプリケーション「Magic Scan」を使用し、ピクチャダイレクト機能や、見ながらスキャン、OCR、BCRなど様々な機能を使用することができます。

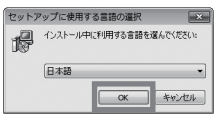
※ 「Magic Scan」使用時には乾電池とmicroSDカードは必要ありません。

Macでは「Magic Scan」をお使いいただけません。

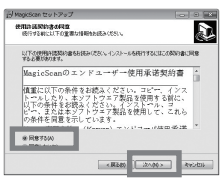
アプリケーションを使用する

■ インストールする

1. 付属のアプリケーションディスク(Magic Scan)を光学ドライブに入れてください。
2. セットアップに使用する言語を[日本語]にして[OK]をクリックしてください。

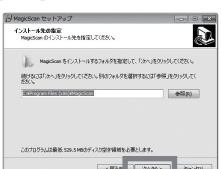


3. 使用許諾契約書の内容をご確認頂き、[同意する]を選し[次へ]をクリックしてください。



← [同意する]を選択する

4. インストール先を選択し[次へ]をクリックし、インストールを開始してください。



5. [完了]をクリックしてインストールを終了してください。

■ 日本語の設定をする(英語からの変更をする場合)

弊社では言語「日本語」ならびに日本語環境以外のご使用はサポートは致しかねます。
日本語以外に設定している場合は、必ず「日本語」に設定してください。

1. 付属のUSBケーブルのミニコネクタ側をスキャナーもしくはシートフィードスタンドのUSB端子に接続し、USBケーブルのAコネクタ側をパソコンのUSBポートに接続してください。
2. 「Magic Scan」のアイコンをクリックし、アプリケーションを起動してください。

3. 表示されたツールバーの一番右側の歯車マーク(セットアップアイコン)をクリックしてください。

セットアップアイコン

4. タブ[General]の[System Language]にある▼マークをクリックし、「日本語」を選択してください。
5. ウィンドウ下部にある[Save]ボタンをクリックします。

※ その他の外国語に設定されている場合も同じ操作で日本語設定にすることができます。

■ ピクチャダイレクト(Picture Direct)機能を使う

ピクチャダイレクトは、スキャンしたデータを保存せずに関連ソフトウェアに直接貼り付けをする機能です。

● スキャンの設定をする

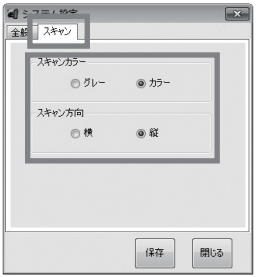
1. ツールバーの一番左側の写真のマーク(ピクチャダイレクトアイコン)をクリックしてください。

ピクチャダイレクトアイコン

2. ピクチャダイレクトツールバーの歯車ボタン(セットアップボタン)をクリックします。

← セットアップボタン

3. [スキャン]のタブをクリックし、カラーとスキャン方向を選択します。
選択後[保存]をクリックします。



← [スキャン]のタブを選択する

← スキャンするカラーと方向を選択し[保存]をクリックします

ⓘ スキャン方向について

スキャン方向の本体の向き、スライド方向は右図の通りになります。

横方向：左から右へスライドする
縦方向：上から下にスライドする

※シートフィードスタンド使用時のスキャン方向は15ページをご確認ください。

● ピクチャダイレクト機能を使う

本機能に対応するソフトウェアは次の通りです。

Word、Excel、PowerPoint、ペイント、Skype、Illustratorなど

※ ソフトウェアのバージョンによってはピクチャダイレクト機能をお使いいただけない場合がございます。

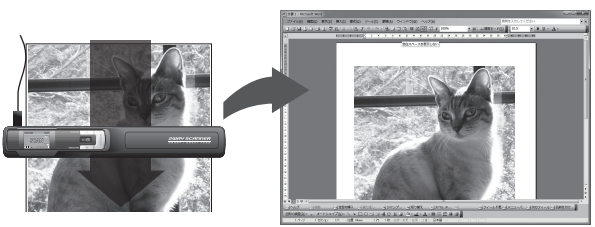
1. 貼り付けを行いたいソフトウェアを起動します。
2. 貼り付けを行いたい位置を選択します。

3. ツールバーの一番左側の写真のマーク(ピクチャダイレクトアイコン)をクリックしてください。

ピクチャダイレクトアイコン

4. スキャナーもしくはシートフィードスタンドでスキャンします。
5. スキャン終了後、2～3秒後、ソフトウェアの選択位置にスキャンデータが貼り付けられます。

スキャンデータによっては貼り付けまでに時間がかかる場合があります。
ソフトウェアによってはスキャンの後に「貼り付け」を実行する必要があります。
ピクチャダイレクトで貼り付けられるデータはJPEG形式になります。解像度は標準画質(300dpi)のみになります。



■ 見ながらスキャンをする

1. ツールバーの右から2番目のマーク(スキャン&OCRアイコン)をクリックしてください。

スキャン&OCRアイコン

2. 画面左上の[スキャン開始・停止]アイコンをクリックします。

スキャン開始・停止アイコン

3. スキャナーもしくはシートフィードスタンドに接続した状態でスキャンします。
スキャンが始まると、画面上にスキャンした内容がリアルタイムに表示されます。

4. スキャン終了後、[スキャン開始・停止]アイコンをクリックします。

■ スキャンデータを編集する

画面上のそれぞれのアイコンをクリックすることで、スキャンデータを編集することができます。

	パソコンに保存されている画像を開きます。		切り抜き前の画像に戻します。
	スキャンした画像を保存します。		画像を左に90度回転させます。
	白黒の画像に加工します。		画像を右に90度回転させます。
	[Scan and OCR]の設定します。		画像を左右反転させます。
	画像内の文字をテキストデータ化します。		画像を上下反転させます。
	[Scan and OCR]を終了します。		選択範囲の画像を切り抜きます。

■ スキャンした文章をテキスト化する(OCR機能)

本製品のOCR機能は100%の文字認識再現率を保証するものではございません。
原稿内容により、認識できない文字があります。

手書きや特殊なフォントを使用した文字・不鮮明な文字・小さすぎる文字、大きすぎる文字 など

● 見ながらスキャンで文章をテキスト化する

1. ツールバーの右から2番目の(スキャン&OCRアイコン)をクリックしてください。
2. 画面右から2番目の歯車アイコン(システム設定)をクリックします。
   [OCR]のタブを選択し、[Japanese](日本語)にチェックを入れてください。

← [OCR]のタブを選択する

← [Japanese]を選択し、□にチェックを入れます

← テキストデータの保存形式を選択します

テキストデータのみを保存する場合は
テキスト形式を選択してください。
Word、Excel形式は画像を含め原稿に
近い配置でテキストデータを保存します。

   テキストデータの保存形式を選択し、[保存]をクリックしてください。
3. 見ながらスキャン(21ページ)と同じ手順でテキスト化したい原稿をスキャン
   してください。
4. 画面左から3番目のOCRアイコンをクリックしてください。
5. 保存先を選択し、[保存]をクリックしてください。自動的に文字の認識、テキスト
   データ出力が開始されます。

Masic Scan起動後、初回の文字認識には多少時間がかかる場合があります。
Word、Excel形式で出力設定している場合、テキスト化できない文字などは画像で表示されます。
テキスト形式で出力設定している場合、テキスト化できない文字は表示されません。

OCRで認識する文字が複数色であったり、濃淡の差が大きい場合は[プリプロセス画像]アイコンを
クリックし、画像を白黒化してください。文字認識の精度が若干向上する場合があります。

● OCRダイレクトで文章をテキスト化する

OCRダイレクトは、スキャンしてテキスト化したデータを関連ソフトウェアに直接貼り付けをする機能です。

本機能に対応するソフトウェアは次の通りです。

Word、Excel、PowerPoint、メモ帳、Skype など

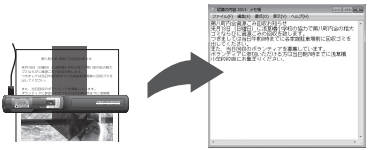
※ ソフトウェアのバージョンによってはOCRダイレクト機能をお使いいただけない場合がございます。

1. テキストデータの貼り付けを行いたいソフトウェアを起動します。
2. テキストデータの貼り付けを行いたい位置を選択します。

3. ツールバーの左から2番目のマーク（OCRダイレクトアイコン）をクリックしてください。

OCRダイレクトアイコン

4. スキャナーもしくはシートフィードスタンドでスキャンします。
5. スキャン終了後、自動的にテキストデータ化が始まり、ソフトウェアの選択位置にテキストデータが貼り付けられます。



ⓘ スキャンする文章の内容によっては、貼り付けまでに時間がかかる場合があります。

■ スキャンした名刺をテキスト化して管理する(BCR機能)

本製品のBCR機能は100%の文字認識再現率を保証するものではございません。
原稿内容により、認識できない文字があります。

手書きや特殊なフォントを使用した文字・不鮮明な文字・小さすぎる文字、大きすぎる文字 など

1. ツールバーの真ん中のマーク(BCRダイレクトアイコン)をクリックしてください。

BCRダイレクトアイコン

2. 画面上の一番左のマーク[新しいカード]アイコンをクリックします。

新しいカードアイコン

3. 画面左側にある[名刺の表面]の枠下にある[スキャン画像]ボタンをクリックします。
新しい画面で、名刺をスキャンします。スキャン状態を確認して[OK]をクリックします。
名刺に裏面がある場合は、同様に[名刺の裏面]の[スキャン画像]クリックして
スキャンしてください。

← [スキャン画像]のボタンを
クリックする

← [Japanese]を選択して
[認識]をクリックする

4. 名刺のスキャンが完了したら、画面下の認識言語から[Japanese]を選択します。
選択後、[認識]ボタンをクリックすると、名刺のテキスト化が始まります。

5. テキスト化された情報が、画面左側のテキストボックス内に表示されます。
表示内容を確認し、内容に間違いがなければ画面下の[保存]ボタンをクリックします。
内容に間違いがある場合は、手動で入力し直してください。

● 保存された名刺データを編集・削除・管理する

1. 画面の[カードリスト]タブをクリックします。
2. 保存されている名刺データの一覧が表示されます。
3. 編集・削除する場合は、編集したいデータ名をダブルクリックします。

[カードリスト]を選択する →

← すべてを表示する場合は[All]を選択する

データを頭文字ごとに表示する場合は、画面左のインデックスから表示したい頭文字をクリックして選択します。

> ! インデックス表示を使用する場合は、編集画面の[名前]の右にあるテキストボックスにアルファベットを1文字入力する必要があります。

● 名刺データを外部出力する

1. 画面の真ん中のマーク(エクスポートカードアイコン)タブをクリックします。
2. [vCard]形式もしくは[テキスト]テキスト形式を選択し、[OK]をクリックします。
3. 保存先(フォルダ)を選択し、[OK]をクリックします。

■ iPadへ転送・閲覧をする

iPad Camera Connection Kit (別売)を使用して、microSDカード内に保存されているスキャンデータをiPadへ転送、閲覧することができます。

1. スキャナーにmicroSDカードを挿入します。
2. 付属のUSBケーブルとiPad Camera Connection Kit (別売)を使用して、スキャナーとiPadを接続します。
3. iPadが自動的に認識をして、[写真]アプリケーションが自動的に起動します。
4. [カメラ]の項目を選択し、スキャンデータを読込みします。

> ! 閲覧はJPEG形式のみ可能です。
> iPadがうまく認識しない場合は、再度接続しなおしてください。
> 乾電池の残量が少ない場合は新しい乾電池に入れ替えてください。

困ったときには

● スキャナー、シートフィードスタンドの電源が入らない

◆ 乾電池で使用している場合

・新しい乾電池に交換してください。

・電池の方向を確認し、再度入れ直してください。

◆ USBで接続している場合

・本製品同梱のUSBケーブルを使用しているかご確認ください。

・USBハブではなく、パソコンのUSBポートに直接接続してください。

● スキャンデータが保存できない

・microSDカードが正しい方向に取り付けられているか確認してください。

・microSDカードの容量に余裕があるか確認してください。

・microSDカードをフォーマットしてください。

◆ 画面に の表示がある場合

・microSDカード内のデータを削除し、空き容量を確保してください。

・新しいmicroSDカードを入れてください。

● パソコンがスキャナーを認識しない

・USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。

・USBハブではなく、パソコンに直接接続しているか確認してください。

・本製品をパソコンに接続した状態で、パソコンを再起動してください。

● スキャンデータがぼやける

・読み取り部分に指紋や汚れが付いている可能性があります。
やわらかい乾いた布で汚れを拭き取ってください。
汚れがひどい場合にはレンズクリーナーなどで汚れを落としてください。

● ERRORが表示される

・スキャンする速度を一定にして再度スキャンしてください。

・解像度が600dpi、900dpiの時はスキャンする速度を遅くしてください。

・頻繁に表示される場合は、乾電池を交換してください。

● microSDカードの情報がパソコンで読み込めない

・暗号化設定している場合は、スキャナーとパソコンをUSBケーブルで接続して、デバイスモードでmicroSDカードを読み込んでください。

保管・お手入れ

●本体に汚れが付いた場合は、乾いたやわらかい布で乾拭きしてください。
　ベンジン、シンナーなど揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
●読み取り部分が汚れた場合はレンズクリーナー用品などで手入れしてください。
●長時間使用しない場合は、乾電池を本製品から取り外してください。
●直射日光の当たる場所や、高温多湿、ホコリが多い場所には保管しないでください。

製品に関するお問合せ

[E-mailでのお問合せ]
弊社サポートメールアドレス support@mco.co.jp までメールをお送りください。
サポートを適確に行うために、以下の点をご記入の上ご連絡ください。
●お問合せ製品名、製品型番
　（本製品は、商品名「2WAYスキャナー」、製品型番「UMSC-03」となります。）
●製品シリアルナンバー（電池カバーを開けた電池ボックス内に記載しております。）
●お使いのパソコンのOS、サービスパックもしくはバージョン
●お使いのパソコンの型番、もしくはスペック
●お買い上げ店舗
●お買い上げ日
●お問合せ内容（なるべく具体的に記載してください。）
※通常、弊社にてメール受信後5営業日以内にご返信しております。
※混雑状況により更にお時間をいただくことがございます。
※エラーにより、返信メールが届かないケースが増えております。お問合せの際はパソコンからのメールをご確認いただけるアドレスでお送りいただきますようお願いいたします。

[電話でのお問合せ]
弊社サポートダイヤル　(03)5825-7851
受付時間　月～金曜　9:00～12:00　13:00～17:30
※土曜、日曜、祝日は受付しておりません。
※電話が込み合っている場合はつながりにくいことがことがございます。予めご了承ください。

[修理商品の送付先]
修理などにて製品をお送りいただく際は、お手数ですが必ず事前にメールまたはお電話にてご連絡をお願いいたします。
〒111-0053
東京都台東区浅草橋1-10-10　一誠ビル3階
株式会社ミヨシ お客様サポート修理受付宛
※事前のご連絡がない場合、受付に時間がかかる場合がございます。
※お送りいただく際は必ず店舗印が押印された保証書、もしくはお買い上げ時発行の領収書など購入証明を添えてください。ご提示いただけない場合は保証期間内であっても有償での対応とさせていただいております。

保証書

※本保証書は捨てずに保管してください

本保証書は◆印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。
この製品はお客様にご送付いただく修理となっております。修理の際にはお買い上げの販売店、もしくは弊社にご相談ください。

保証規定

(1)保証期間について
　本製品保証期間はお買い上げ日より1年間となっております。
(2)無償保証について
　保証期間中、万が一品質及び製造上の不備により故障が発生した場合は弊社製品に対し、責任を持って無償修理いたします。
(3)無償保証適応外について
　下記の場合は保証期間内であっても無償保証を受けることができません。
　●保証書に購入店舗印、購入日時が記載されていない場合
　●ご購入日を証明頂けるもの(レシート、納品書等)をご提示頂けない場合
　●中古品やオークション等で入手された製品の場合
　●火災、落雷、水害等天変地異や異状電圧による故障の場合
　●水没、水や飲料水等をかけた事による故障の場合
　●高温多湿の場所での使用やホコリ、ゴミなどの混入による故障の場合
　●ご提示頂いた保証書が模造、修正された疑いがある場合
(4)保証、修理対応外について
　次の場合は保証期間内、期間外を問わず一切の保証、修理をできかねます。
　●本製品の落下、破損の場合
　●本体に不正な分解、改造痕がみうけられた場合
(5)免責事項について
　本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社は責任を負わないものとします。
(6)本製品は医療機器、原子力施設や機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器、システムなどへの組み込みは想定されておりません。
(7)保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
(8)保証は日本国内のみ有効です。国外での使用に関しましては一切保証いたしません。
(9)製品保証は本製品のみとさせていただきます。本製品の故障またはその使用によって生じた損害、間接の損害に関しましては当社はその責を負いかねます。予めご了承願います。